

大型樹木の移植について

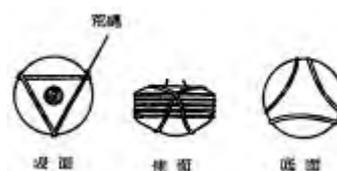
問 イチイの大木（樹高 20m，直径 1m）を公共施設の広場に移植したいのですが，その方法についてお知らせ下さい。（北見市 Y生）

答 樹高，胸高直径から判断して，そのイチイの樹齢は 150～170 年前後と推定されます。このような大型樹木の移植を成功させるためには，次の点に留意して作業を行う必要があります。

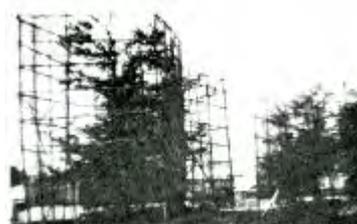
移植時期および掘取り：イチイの移植適期は 5～6 月です。まず，選定した移植木が自生している林内の環境を踏査し，搬出や掘取り作業の難易等を事前に検討する必要があります。この大きさに相当するイチイ 1 本当りの総重量は，根鉢も含め約 20～22 トンぐらいあるため，搬出には 25 トン以上のクレーン車が現場に入り作業が容易にできる条件を整えます。つぎに，根に土をつけたまま掘取る根廻しを行います。この作業は掘取りを行う際，障害となる下草やかん木を刈払い，表層を整理します。また，土壌が火山灰系の場合は，土がくずれやすいので，根元周囲にかん水し踏み固めます。根廻しの大きさは，根元半径の 3～4 倍を目安に幹を中心に円を描き，そこに幅 50cm 前後の溝を掘ります。掘取りは，スコップの外側を根の方向にむけ，深さは，通常，根元直径の 2～3 倍を目安とします。作業中，溝の部分にでてきた根は，せん定鋏・鋸で切断します。この場合，直根が丈夫でないと，倒木の危険が伴うため，支柱かロープを架設しておくこと作業上安全です。根廻しが完了したら，根についている土がくずれないように，荒縄で図のように根巻きして根鉢を作り，直根を切り離し，乾燥を防ぐため，根全体をムシロで包み静かに横たえます。さらに葉からの蒸散作用を少なくするため，枝の良否を見定め，全枝葉の約 2/3 を切取ります。搬出は，クレーンで車台に吊上げる際，幹の剥皮を防ぐため，ワイヤーロープの接幹部は事前にムシロを巻き，目的地まで運搬します。

移植および管理：移植を成功させるためには，適期に行うこと，根を乾燥させないことです。大型樹木の移植は，一般に水ぎめ法によって行います。排水がよくない場所では，根鉢直径の約 1.5 倍の大きさに地面を 20cm ほど掘り下げ，この中に樹木を垂直に置き，肥沃土を根鉢の周囲から除々に盛上げながら，十分かん水し，踏み固めて根元に小山を築くようにします。土壌や排水がよい場所では，根が十分に入るほどの植穴を掘り，この中に樹木を置いて土を 8 分目ぐらい入れ，水を植穴一杯に注ぎ，棒で突きながら泥状になった土と根とを密接させます。水が引くのを待って，残りの土を埋めもどし，最後に根元を踏み固めます。このほか移植初期の大型のイチイは，乾燥や寒風などによる被害を受けやすいため，移植完了と同時に足場丸太（比較的安価に求められ，しかも丈夫なカラマツの間伐材がよい）を写真のように樹高や被張りに合わせて組立て，これに寒冷紗を張って保護することが必要です。なお移植した樹木の衰弱を防ぐため活力剤（メネデル）を樹幹に注入すると，さらに効果があるようです。

（樹芸樹木科 斎藤 晶）



根巻きの方法



乾燥，寒風を防ぐ方法
（樹種イチイ）